



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

— あいなん音故地新 —

困難は縁を呼ぶ

思い通りにいかないことばかり、と前回？前々回？ここで書いた。しんどいことも多いけど、やからこそ人生は面白い。

竹富島の施術のため、羽田空港に向かうバスの中でハツとする。『美容鍼を入れ忘れた！』。東京なら注文すれば翌日に届くけど離島は早くても3日はかかる。間に合わん。しかも出張やから持参した鍼数に限りがあり他で代用する余裕がない。頭をフル回転させて閃いたのが『現地調達』。途中で降り立つ石垣島にはいくつか鍼灸院があったはず。乗り物酔いと戦いながら片っ端から問い合わせた。すると、1軒だけ『分けられますよ！』と返信がきたのだ。女神のように思えた。連絡がきたときはすでに石垣から竹富島に向かうフェリーの中やったけど、私は迷わず引き返す。手土産を持って鍼灸院へ伺った。貫禄があって面白い院長さんとすっかり仲良くなり、東京で朝まで飲む約束をした。石垣島に寄る楽しみもできた。貴重な鍼灸師仲間が増えた。思い通りに進んどったら出会うことはなかったやろう。出合いや縁は思い通りにならんところから生まれる。これからも『思い通りにいかん人生』を楽しんでいくぞ。

(テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

“3月の新着図書ピックアップ”の紹介

【絵本】

『おめでとうかいぎ』
浜田 桂子(作)
理論社(発行)

卒園の日、なかなか眠れないゆうきくん。通園バッグたちが開く「おめでとうかいぎ」に招待され、産着や哺乳瓶、初めての靴など、ずっとゆうきくんを見守ってきたものたちから、思い出とともにお祝いが伝えられます。そしてお別れの時、これから見守ってくれる友だちを紹介されます。不安な気持ちもいっぱいだけど、たくさんの思い出が新しい世界への勇気になる。



【小説】

『エレガンス』
石川 智健(著)
河出書房新社(発行)

第二次大戦末期の東京。警視庁所属の写真家石川と鑑識捜査課吉川は、洋装女性が連続して不審死を遂げた事件〈釣鐘草の衝動〉の謎を追うことになる。石川が撮った現場写真を見た吉川は、頸部索溝や捜査記録の重要性を説く。空襲に脅える東京で捜査は続き、統制下という世界によって自分が変えられないようにと抗う女性たちの姿が明らかになっていく。



石川
智健

御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町
ホーム
ページ